

# 今後の検討課題①

診調組 D-2参考2  
2 9 . 2 . 9

診調組 D-3  
2 8 . 1 1 . 9

平成28年2月10日答申書附帯意見(抜粋)

2. DPCにおける調整係数の機能評価係数Ⅱの置き換えに向けた適切な措置について検討するとともに、医療機関群、機能評価係数Ⅱの見直し等について引き続き調査・検証し、その在り方について引き続き検討すること。

今後のDPC評価分科会においては、平成30年度改定に向けて、DPC制度が医療提供体制において果たすべき役割を念頭に置きながら、まずは医療機関別係数から、順次、議論することとしてはどうか。

## 【医療機関別係数に係る検討】

- 1) 基礎係数(医療機関群)のあり方
- 2) 調整係数のあり方
- 3) 機能評価係数Ⅱについて

本日の会議資料(D-2)を踏まえて、次頁の項目にそって議論

## 【診断群分類点数に係る検討】

- 4) 診断群分類点数表について

DPC検討WGにおける検討を踏まえて議論

## 【その他】

- 5) 請求に関するルールについて
- 6) その他

持参薬やデータ収集・提出に係る今年度の分析を踏まえて議論

# 今後の検討課題②

## 【医療機関別係数に係る検討】

### 1) 基礎係数(医療機関群)のあり方

### 2) 調整係数のあり方

### 3) 機能評価係数Ⅱについて

#### 基礎係数(医療機関群)のあり方

##### (1)趣旨

- 基本的な診療機能に対応して設定する、包括範囲に係る直近の出来高点数相当の平均値(基礎係数)については、異なる機能や役割を担っている医療機関に対して同程度の効率化・標準化を求めることは、これらの役割や機能を維持することが困難になる恐れがあることから、DPC/PDPS参加病院を幾つかの医療機関群に分類し、それぞれの医療機関群毎に基礎係数を設定することとされた。
- 具体的には、平成24年度改定において、大学病院本院を医療機関群(Ⅰ群)に分類し、大学病院本院に相当するような一定以上の医師密度・診療密度を有する医療機関群についてⅡ群、それ以外についてはⅢ群として設定することとされた。

##### (2)主な指摘

- 医療機関群について、それぞれの群がどのような機能を求められているのかわかりにくい。
- 現行のⅡ群、Ⅲ群とは異なった医療機関群について、弾力的に検討するべきではないか。

##### (3)論点

- 各医療機関群については、基本的な診療機能に着目した医療機関群毎の適切な基礎係数(出来高点数の平均値)を設定するという趣旨を踏まえた現行の医療機関群についてどう考えるか。
- 医療機関群の要件設定や参加に係るルールについて、どのように考えるか。

# 今後の検討課題③

## 【医療機関別係数に係る検討】

1) 基礎係数(医療機関群)のあり方

**2) 調整係数のあり方**

3) 機能評価係数Ⅱについて

### 調整係数のあり方(調整係数の置き換えのあり方)

#### (1) 趣旨

- 調整係数は、制度導入時の激変緩和のために設定されたが、①円滑な医療機関運営の促進と、②DPC制度選択のインセンティブという二つの効用を残しつつ、過去の報酬水準を維持する個別調整から、基本的な診療機能に係る包括報酬(基礎係数)に、診療実績に基づく調整分(機能評価係数Ⅱ)を加味する診療報酬体系に移行することとされた。
- 平成24年度改定以降、調整係数の置き換えについて、これまで数次の対応をしてきたが、依然として激変緩和が必要な医療機関が存在しているとの指摘を踏まえ、平成28年度は、診断群分類点数表で表現しきれない、患者の重症度との乖離率を評価する指数として、重症度指数が新設された。

#### (2) 主な指摘

- 重症度係数を新設したが、調整係数による激変緩和とは趣旨が異なっているのではないかと指摘されている。

#### (3) 論点

- 基礎係数や機能評価係数Ⅱへの置き換えとともに、激変緩和措置が適用されている医療機関について、より詳細な分析が必要ではないか。また、そのような医療機関について今後の対応をどう考えるか。

# 今後の検討課題④

## 【医療機関別係数に係る検討】

- 1) 基礎係数(医療機関群)のあり方
- 2) 調整係数のあり方
- 3) **機能評価係数Ⅱについて**

### 機能評価係数Ⅱのあり方

#### (1)趣旨

- 調整係数が重症患者への対応能力や高度医療の提供能力など、様々な診療コストのバラつきを補正する役割を担っているという指摘を踏まえ、機能評価係数Ⅱで対応すべき事項が検討された結果、急性期入院医療の評価であること、医療全体の質の向上が期待できること、社会的に求められる機能・役割を重視すること等の基本的考え方がまとめられ、救急医療係数、カバー率係数といった6項目が導入された。(平成22年度)
- 更に、平成24年以降、基礎係数と機能評価係数Ⅱへの移行が整理され、機能評価係数Ⅱは、評価の視点から、①全ての医療機関が目指すべき望ましい医療の実現と、②社会や地域の実情に応じて求められる機能の実現、に大別され、①の視点から、保険診療係数や効率性係数など、②の視点からカバー率係数や、地域医療係数などが評価されている。

#### (2)主な指摘

- 競争から協調へと言いながら、現行の機能評価係数Ⅱは消耗戦を強いる評価となっているのではないか。

#### (3)論点

- 各係数について、その趣旨や導入目的に鑑み、全体の再整理が必要ではないか。その際、それに適した重みづけを行うことについて、どう考えるか。
- 重症度係数については、その実績や役割について、検証することが必要ではないか。
- 医療機関間の機能分担・連携を推進するような機能評価係数Ⅱによる評価のあり方についてどう考えるか

## 今後の検討方針と主な検討課題について（案）

平成 28 年度改定での対応と平成 28 年 6 月 22 日に開催された中医協基本問題小委員会・中医協総会における主な意見等を踏まえ、平成 30 年の次回診療報酬改定に向けた DPC 制度に係る検討については、以下のような対応としてはどうか。

### I. 平成 30 年度改定に向けた検討方針とスケジュール

#### 1. 検討方針

平成 30 年度改定に向けた検討に当たっては、今後の DPC 制度に関する基本的な考え方を整理した上で、個別事項に関して検討する。

#### 2. スケジュール

1. 検討方針を踏まえ、当面の大まかなスケジュールは以下の通りとする。

| 時期             | 検討内容                      |
|----------------|---------------------------|
| 平成 28 年 10 月頃～ | ・今後の DPC 制度に関する基本的な考え方の整理 |
| 平成 29 年 4 月頃～  | ・基本的な考え方を踏まえた個別課題の検討      |
| 12 月頃          | ・中医協への中間報告                |

### II. 主な検討課題

基本的な考え方を踏まえた上で検討する主な課題を、以下の通り再整理した。

#### (1) 次期改定に向けた検討課題

- ① 基礎係数（医療機関群）のあり方
  - ・ II 群の選定要件について 等
- ② 調整係数のあり方
  - ・ 平成 30 年度に置き換えが完了する予定である調整係数のあり方について
  - ・ 激変緩和措置のあり方について 等
- ③ 機能評価係数 II について
  - ・ 病院情報の公表について
  - ・ 後発医薬品係数について
  - ・ 重症度係数について
  - ・ 各係数の重みづけについて
  - ・ 医科点数表改定の影響の反映について
  - ・ 機能評価係数 II として評価すべき新規項目について 等

- ④ 診断群分類点数表について
  - ・ CCP マトリックスについて
  - ・ 適切な傷病名コーディングの推進について
  - ・ ICD-10 (2013 年度版) への対応時期について 等
- ⑤ 請求に関するルールについて
  - ・ 持参業のあり方について 等
- ⑥ その他
  - ・ DPC データの収集方法について
  - ・ DPC 制度における手続き遺漏の際の対応について 等
- (2) DPC 検討 WG における検討課題について
  - ① MDC 毎作業班
    - (ア) 診断群分類点数表の見直しについて
      - ・ 最新の DPC データを活用した、診療実態に即した診断群分類の見直し
    - (イ) 様式 1 (簡易診療録情報) の調査項目の見直しについて
      - ・ 診断群分類の分岐に必要な診療情報等について見直し
  - ② DPC/PDPS 傷病名コーディングエキスト作業班
    - 各医療機関における「適切なコーディング委員会」における参考資料としての DPC/PDPS 傷病名コーディングエキストの見直し